

小山広域保健衛生組合  
第2期エネルギー回収推進施設整備・運営事業

審査講評

令和4年12月13日

第2期エネルギー回収推進施設整備・運営事業者選定委員会

## 目 次

1	事業概要等 .....	1
2	民間事業者の選定方法 .....	1
3	選定委員会の設置 .....	2
4	民間事業者の募集及び選定等スケジュール .....	3
5	民間事業者の選定フロー .....	4
6	審査結果の概要 .....	5
7	総評 .....	15

## 1 事業概要等

### 1.1 事業名称

小山広域保健衛生組合第2期エネルギー回収推進施設整備・運営事業

### 1.2 対象となる公共施設等の種類

一般廃棄物処理施設（ごみ焼却場）

### 1.3 事業概要

小山広域保健衛生組合第2期エネルギー回収推進施設整備・運営事業（以下「本事業」という。）は、小山広域保健衛生組合（以下「組合」という。）が将来にわたって安定的かつ安全なごみ処理体制を維持していくため、2026（令和8）年度中に新たな可燃ごみ等の処理施設等の整備を完了し、将来にわたって適切な運営を行うものである。

なお、本事業は、DBO方式により実施する。本施設の設計・施工業務は、民間事業者が設立する共同企業体が行うものとし、運営施設の運営業務は、民間事業者が設立する特別目的会社が行うものとする。

#### 1) 事業用地及び整備範囲

##### (1) 事業用地

事業用地：小山市大字塩沢 576 番地 15 の一部ほか（約 4.5ha）

整備範囲：事業用地のうち、本施設を整備する範囲

#### 2) 施設概要

##### (1) ごみ焼却施設

エネルギー回収型廃棄物処理施設（全連続燃焼式ストーカ炉）180t/日（90t/日×2 炉）

##### (2) 関連施設（要求水準書により整備される上記以外の全ての施設）

#### 3) 供用開始

2025（令和7）年4月1日～：ごみ計量棟、新直搬ヤード、現直搬ヤード（古紙・古布貯留棟として）運営開始

2027（令和9）年4月1日～：運営施設全て運営開始

#### 4) 事業期間

設計・施工期間：契約締結日から2027（令和9）年3月31日まで

運 営 期 間：2025（令和7）年4月1日から2047（令和29）年3月31日まで

## 2 民間事業者の選定方法

本事業を実施する民間事業者の選定に当たっては、競争性、公平性及び透明性を確保するため、設計・施工及び運営に関する技術、事業遂行能力等、並びに入札価格を総合的に評価し、最優秀提案者を選定する「総合評価一般競争入札」により実施した。

### 3 選定委員会の設置

組合は、民間事業者の選定に係る審査に当たり、専門的、技術的見地から提案内容の検討を行い、評価する「第2期エネルギー回収推進施設整備・運営事業者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）を設置し、以下のとおり8名の委員を選任した。

	氏名	所属
委員長	荒井 喜久雄	公益社団法人 全国都市清掃会議 技術指導部長
委員	柿井 一男	宇都宮大学 名誉教授
委員	大和 征良	小山工業高等専門学校 建築学科 准教授
委員	田中 真	弁護士法人ひととのや法律事務所 弁護士
委員	古川 都	小山市 市民生活部長
委員	直井 満	下野市 市民生活部長
委員	寶示戸 浩	野木町 町民生活部長
委員	細島 譲	小山広域保健衛生組合 事務局長

(順不同)

#### 4 民間事業者の募集及び選定等スケジュール

民間事業者の募集及び選定等のスケジュールは、表 1 に示すとおりである。

表 1 民間事業者の選定スケジュール

スケジュール	内 容
令和 3 年 11 月 4 日(木)	◆第 1 回選定委員会 事業概要説明、事業者選定スケジュール等の審議
令和 3 年 12 月 8 日(木)	◆第 2 回選定委員会 事業方式、実施方針(案)、要求水準書(案)等の審議
令和 4 年 2 月 3 日(木)	実施方針、要求水準書(案)の公表
令和 4 年 3 月 16 日(水)	◆第 3 回選定委員会 募集要項(案)等の審議
令和 4 年 3 月 31 日(木)	特定事業の選定の公表
令和 4 年 4 月 4 日(月)	入札公告
令和 4 年 4 月 18 日(月)	参加資格審査に関する質問の受付期限
令和 4 年 5 月 2 日(月)	参加資格審査に関する質問への回答公表
令和 4 年 5 月 16 日(月)	参加資格審査申請書類の受付期限
令和 4 年 5 月 27 日(金)	参加資格審査結果の通知
令和 4 年 5 月 30 日(月)	募集要項に関する質問の受付期限
令和 4 年 6 月 13 日(月)	募集要項に関する質問への回答公表
令和 4 年 7 月 27 日(水)	◆第 4 回選定委員会 概要ヒアリング
令和 4 年 10 月 7 日(金)	事業提案書の受付期限
令和 4 年 11 月 15 日(火)	◆第 5 回選定委員会 審査方法、提案書確認事項等の確認
令和 4 年 12 月 13 日(火)	◆第 6 回選定委員会 本審査ヒアリング、非価格要素審査、価格審査、 最優秀提案者の選定、審査講評の審議

## 5 民間事業者の選定フロー

民間事業者の選定の流れは、図 1 に示すとおりである。

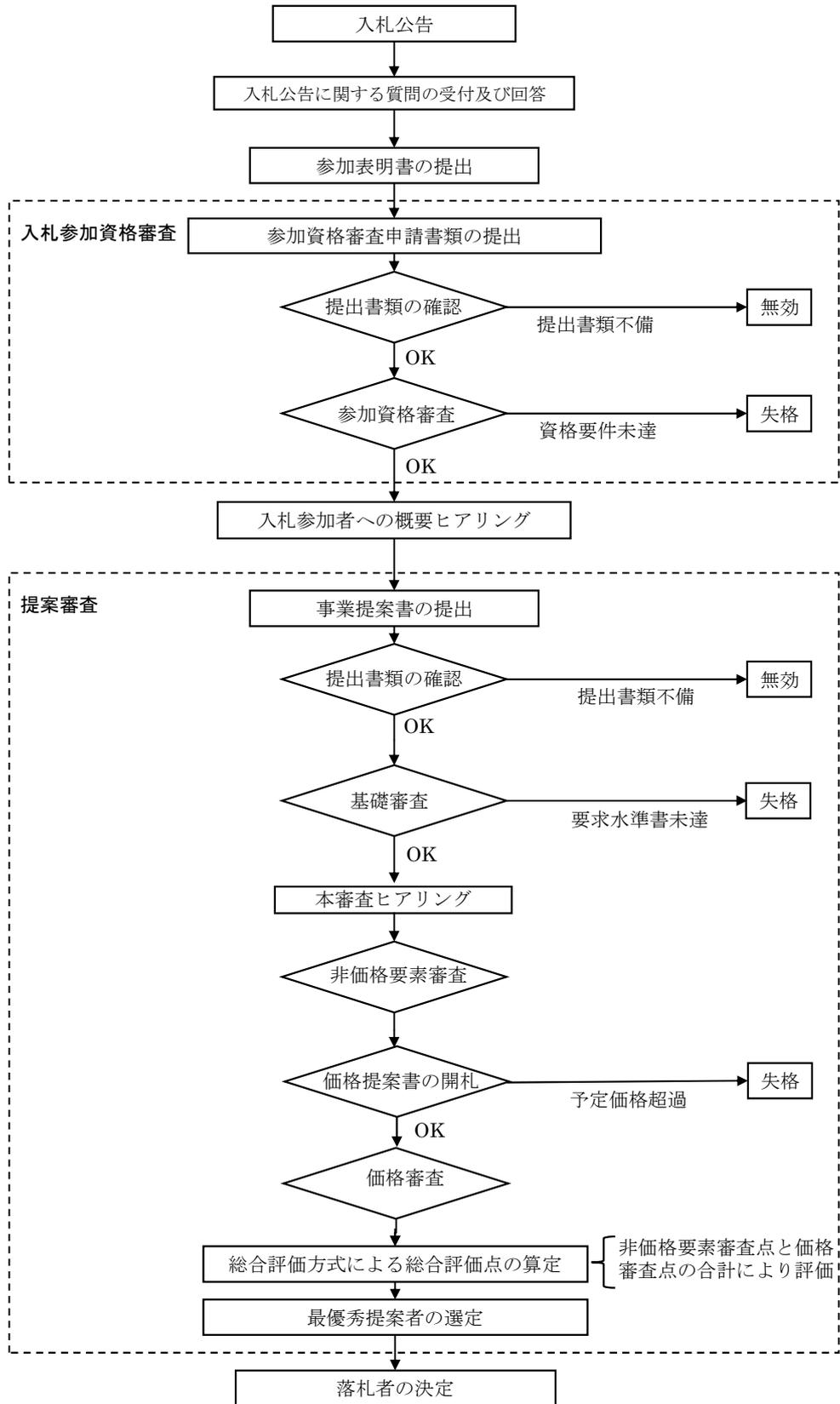


図 1 民間事業者の選定フロー

## 6 審査結果の概要

民間事業者の選定に係る審査は、第1段階における入札参加資格審査、第2段階における提案審査で構成する。

### 6.1 入札参加資格審査

令和4年4月4日に入札公告を行い、令和4年5月16日まで参加表明書及び参加資格審査申請書類を受け付けたところ、表2の1グループから申請があった。

表2 参加表明者

グループ名	Kグループ
代表企業・構成員	荏原環境プラント株式会社営業第一部（東京都）
協力企業	佐藤工業株式会社東京支店（東京都） 株式会社板橋組（小山市） 株式会社斉藤組（小山市） 株式会社小林工業（下野市） 小山広域廃棄物処理協同組合（組合管内）

提出された参加表明書及び参加資格審査申請書類について、入札説明書に示す参加資格要件を全て満たしていることを確認し、表3に示す入札参加資格審査の結果を踏まえ、令和4年5月27日に代表企業に対し、入札参加資格を有することを書面にて通知した。

表3 入札参加資格審査結果

審査項目	Kグループ
1) 共通の参加資格要件	合格
2) 設計・施工に関する資格要件	合格
(1) プラントの設計・施工を行う企業	合格
(2) 建築物等の設計・施工を行う企業	合格
3) 運営施設の運営を行う企業	合格

なお、選定委員会による審査に当たっては、審査の公平性を期すため、提案書等全てにおいて企業名は伏せ、表2のグループ名により識別し、評価を行った。

また、令和4年7月27日に選定委員会による入札参加者への概要ヒアリングを行い、提案概要について対話を行い、入札参加者の要求水準書に対する認識等の確認を行った。

## 6.2 提案審査

### 1) 基礎審査

令和4年10月7日にKグループより事業提案書が提出された。

提出された提案書について、提出書類の確認と、事業提案書の内容が要求水準を満たしているかの審査を行った。その結果、表4のとおり、Kグループは、組合が要求する水準を満足していたため、基礎審査に合格しているものと認められた。

表4 基礎審査結果

審査項目	Kグループ
1) 提出書類の確認	合格
2) 事業提案書の要求水準確認	合格

### 2) 提案審査

#### (1) 非価格要素審査

令和4年12月13日に、選定委員会において非価格要素提案書の審査を行った。審査に当たり、提案書に関する入札参加者による説明（プレゼンテーション）及び提案内容に対する質疑（ヒアリング）を実施し審査を行った。

具体的には、入札参加者から提出された非価格要素提案書を基に、表5に示す30項目について、表6に示すA～Eの5段階評価を行い、点数化した。

表 5 審査項目、審査の視点及び配点

審査項目	No.	小項目	審査の視点	配点	
<b>1 設計・施工計画に関する事項</b>				<b>59</b>	
(1) 施設の安定稼働	1	安定処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>本施設の耐用年数 30 年以上を見据えた優れた提案がなされているか。</li> <li>プラントの点検及び補修が容易であるか。</li> <li>過年度の納入実績に基づき、トラブル発生時においても迅速に復旧でき、安定して使用できるプラントシステムについて、優れた提案がなされているか。</li> </ul>	3	9
	2	ごみ量、ごみ質変動への対応（施設面）	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ量、ごみ質の変動に対して安定的かつ効率的なごみ処理を行うための施設上の工夫について優れた提案がなされているか。</li> </ul>	3	
	3	施設の強靱化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震、風水害等の自然災害に対する施設強靱化(耐震、炉の立下げ・立上げ等)、避難ルート等の施設上の工夫に関して、優れた提案がなされているか。</li> </ul>	3	
(2) 環境負荷の低減・循環型社会への貢献	4	工事中の周辺への環境配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期となる工事に対し、周辺の住民の生活環境（大気、騒音、振動、景観等）を守るため、工程、工法、自主基準、環境モニタリング等の対策、工夫について優れた提案がなされているか。</li> <li>工事に対する周辺住民等へのイメージアップにつながる対策や、工事工程、モニタリング結果等の情報公開について優れた提案がなされているか。</li> </ul>	3	21
	5	環境保全対策（施設面）	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の住民の生活環境を守るための設計、施工上の工夫・対策（公害防止対策設備等）について優れた提案がなされているか。</li> </ul>	5	
	6	温室効果ガス（CO <sub>2</sub> ）の低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>本施設の稼働に伴う温室効果ガスの排出量が少ないシステムとなっているか。</li> </ul>	5	
	7	安定的な熱回収及びエネルギー有効利用（施設面）	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱回収率を高め、使用電力の最小化（省エネルギー）を図り、売電電力量が最大となるシステムが提案されているか。</li> </ul>	5	
	8	焼却灰等の発生抑制・資源化	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期焼却施設から排出される焼却灰等について、資源化に向けた適正な処理を行うとともに、発生抑制に優れたシステムとなっているか。</li> </ul>	3	
(3) 配置・動線計画	9	施設の配置・動線計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設の配置計画及び動線計画について、既存施設、周辺施設及び道路等の事業用地の特徴や各設備及び諸室の機能的なつながりやゾーニングが考慮された、合理的かつ安全で効率的な施設配置及び車両動線計画について優れた提案がなされているか。</li> </ul>	5	5
(4) 周辺環境との調和	10	意匠・外構計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築物の形状や材料、色彩計画、施設の外構、植栽等について、地域特性を踏まえ、圧迫感軽減や事業実施区域全体の一体性及び周辺地域の景観に配慮された優れた提案となっているか。</li> </ul>	3	3
(5) 施工計画	11	施工計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>現・新計量棟、現・新直搬ヤード、現・新資源物ヤード、第1期施設及び160t焼却施設等既存施設の継続稼働に支障を生じないための施工上の工夫について優れた提案がなされているか。</li> <li>既存施設の稼働への影響を最小とした工事の段階に応じた電源切替工事について、具体的でかつ確実性の高い方法が提案されているか。</li> </ul>	5	13
	12	工事中の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事中の作業体制及び労働者の安全確保について優れた提案がなされているか。</li> <li>地域住民や通学者等の安全確保について優れた提案がなされているか。</li> </ul>	3	

審査項目	No.	小項目	審査の視点	配点	
	13	工程管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事の実施に対し、工期遵守のための効率的かつ円滑に行うための工程計画、施工上の工夫について優れた提案がなされているか。</li> <li>民間事業者が管理する施設の各種情報に係る組合との共有及び管理方法について優れた提案がなされているか。</li> </ul>	5	
(6) 環境学習・啓発施設	14	環境学習・啓発施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>見学者がごみの減量化、環境問題に気づき、自ら考え、行動できるよう意識啓発に効果的な啓発設備、体験型設備等施設上の工夫について優れた提案がなされているか。</li> </ul>	5	
	15	見学者動線計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転管理要員及び一般見学者等が車両動線と交錯しないよう安全に十分配慮したアプローチ方法等が提案されているか。</li> <li>第1期焼却施設の環境啓発施設と連携した効果的な見学ルート、子どもや高齢者、障がい者等見学者の年齢や立場等に配慮した安全性の高い見学窓の配置等について具体的かつ優れた提案がなされているか。</li> </ul>	3	8
<b>2 運営計画に関する事項</b>				<b>34</b>	
(1) 受付・受入管理計画	16	効率的かつ円滑な受付・受入	<ul style="list-style-type: none"> <li>効率的かつ円滑な受付・受入業務に関する運営上の工夫について優れた提案がなされているか。</li> </ul>	5	5
(2) 運転管理計画	17	安全な運転計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転、点検、補修工事における従業員及び作業員の安全確保、搬入者や見学者等の安全確保等運営時の人災低減のための方策について優れた提案がなされているか。</li> </ul>	5	8
	18	ごみ量、ごみ質変動への対応（運営面）	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ量、ごみ質の変動に対して安定的かつ効率的なごみ処理を行うための運営上の工夫について優れた提案がなされているか。</li> </ul>	3	
(3) 維持管理計画	19	長期使用可能な施設運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業期間及び本施設の耐用年数30年以上を見据えた施設運転、維持管理方法について優れた提案がなされているか。</li> <li>効果的かつ確実な点検補修計画について優れた提案となっているか。</li> </ul>	3	3
(4) 環境管理計画	20	環境保全対策（運営面）	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設稼働中の周辺の住民の生活環境を守るための運営上の工夫・対策（公害防止対策設備等）、運転・維持管理上の工夫・対策（要監視基準値、停止基準値、運転管理基準値の設定と監視方法、超過時の対応等）について優れた提案がなされているか。</li> </ul>	5	5
(5) 余熱利用及び売電計画	21	安定的な熱回収及びエネルギー有効利用（運営面）	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通じて売電収入を安定的かつ最大にするための工夫について優れた提案がなされているか。</li> </ul>	5	5
(6) 防災管理計画	22	自然災害等への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生時の対応におけるごみ処理の継続、緊急体制、早期復旧及び運営開始について優れた提案がなされているか。</li> <li>災害発生時の来場者、避難者及び従業員の安全確保に関して、優れた提案がなされているか。</li> <li>災害廃棄物の受け入れ（処理）に関して、優れた提案がなされているか。</li> </ul>	3	3
(7) 住民・見学者等対応	23	住民・見学者対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民対応に係る方法について優れた提案がなされているか。</li> <li>見学者がごみの減量化、環境問題に気づき、自ら考え、行動できるよう意識啓発に効果的な啓発実施のための工夫について優れた提案がなされているか。</li> </ul>	5	5

審査項目	No.	小項目	審査の視点	配点	
<b>3 事業の全体計画に関する事項</b>				<b>27</b>	
(1) 実施方針・体制	24	入札参加者の実施体制と役割分担	・入札参加者の実施体制において、構成員、協力企業等の役割、バックアップ体制等に優れた提案がなされているか。また、提案された体制が実現的かつ効果的であるか。 ・各々の役割分担が明確で、かつ、適正な人員配置及び人員の教育計画について優れた提案がなされているか。	5	8
	25	組合との情報共有・管理	・設計・施工に係る各種情報の組合との共有及び管理方法について優れた提案がなされているか。	3	
(2) 事業の安定性	26	長期収支計画の安定性	・安定した事業経営計画及び事業収支計画が提案されているか。 ・事業の安定化を図るための工夫について優れた提案がなされているか。	3	9
	27	リスク管理と対応策	・本事業の設計・施工面及び運営面におけるリスクを具体的かつ適切に認識し、その対応について優れた提案がなされているか。	3	
	28	事業期間終了時の対応	・施設運営の引継ぎ時における組合支援策について優れた提案がなされているか。	3	
(3) 地元企業の活用・地元雇用・地域貢献	29	地元還元・貢献（設計・施工時）	・設計・施工時における地元企業（構成市町村内）の活用、地元雇用、支援及び協働について優れた提案がなされているか。	5	10
	30	地元還元・貢献（運営時）	・運営時における地元企業（構成市町村内）の活用、地元雇用、支援及び協働について優れた提案がなされているか。	5	
<b>合計(= 1 + 2 + 3)</b>				<b>120</b>	

表 6 審査基準及び得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	非常に優れている	配点 × 1.0
B	優れている	配点 × 0.75
C	普通	配点 × 0.5
D	一部、工夫の余地がある	配点 × 0.25
E	全体的に工夫が必要である	配点 × 0

各審査項目の評価点については、次の算定式①により、選定委員会の各委員が個別に行った評価の平均値とした。なお、平均値を求める際は、小数第3位を四捨五入した値を算出した。

【算定式①】非価格要素点の算定式	
非価格要素点	= $\Sigma$ (各審査項目の得点) / 委員人数 (8名)

非価格要素審査結果を表 7 に示す。

表 7 非価格要素審査結果

審査項目	No.	小項目	配点		Kグループの得点	
<b>1 設計・施工計画に関する事項</b>			<b>59</b>		<b>39.14</b>	
(1) 施設の安定稼働	1	安定処理	3	9	2.34	6.84
	2	ごみ量、ごみ質変動への対応（施設面）	3		2.34	
	3	施設の強靱化	3		2.16	
(2) 環境負荷の低減・循環型社会への貢献	4	工事中の周辺への環境配慮	3	21	1.88	14.01
	5	環境保全対策（施設面）	5		2.66	
	6	温室効果ガス（CO2）の低減	5		3.59	
	7	安定的な熱回収及びエネルギー有効利用（施設面）	5		3.91	
	8	焼却灰等の発生抑制・資源化	3		1.97	
(3) 配置・動線計画	9	施設の配置・動線計画	5	5	3.59	3.59
(4) 周辺環境との調和	10	意匠・外構計画	3	3	1.97	1.97
(5) 施工計画	11	施工計画	5	13	3.44	8.19
	12	工事中の安全対策	3		1.78	
	13	工程管理	5		2.97	
(6) 環境学習・啓発施設	14	環境学習・啓発施設	5	8	2.66	4.54
	15	見学者動線計画	3		1.88	
<b>2 運営計画に関する事項</b>			<b>34</b>		<b>21.46</b>	
(1) 受付・受入管理計画	16	効率的かつ円滑な受付・受入	5	5	2.81	2.81
(2) 運転管理計画	17	安全な運転計画	5	8	2.81	4.97
	18	ごみ量、ごみ質変動への対応（運営面）	3		2.16	
(3) 維持管理計画	19	長期使用可能な施設運営	3	3	1.78	1.78
(4) 環境管理計画	20	環境保全対策（運営面）	5	5	3.28	3.28
(5) 余熱利用及び売電計画	21	安定的な熱回収及びエネルギー有効利用（運営面）	5	5	3.75	3.75
(6) 防災管理計画	22	自然災害等への対応	3	3	2.06	2.06
(7) 住民・見学者等対応	23	住民・見学者対応	5	5	2.81	2.81
<b>3 事業の全体計画に関する事項</b>			<b>27</b>		<b>17.96</b>	
(1) 実施方針・体制	24	入札参加者の実施体制と役割分担	5	8	3.28	5.34
	25	組合との情報共有・管理	3		2.06	
(2) 事業の安定性	26	長期収支計画の安定性	3	9	1.97	6.37
	27	リスク管理と対応策	3		2.06	
	28	事業期間終了時の対応	3		2.34	
(3) 地元企業の活用・地元雇用・地域貢献	29	地元還元・貢献（設計・施工時）	5	10	2.97	6.25
	30	地元還元・貢献（運営時）	5		3.28	
<b>合計（= 1 + 2 + 3）</b>			<b>120</b>		<b>78.56</b>	

各審査項目に対する講評を表 8 に示す。

表 8 各審査項目に対する講評

審査項目	No.	小項目	講評
<b>1 設計・施工計画に関する事項</b>			
(1) 施設の安定稼働	1	安定処理	30年以上の長期安定運転を可能とする施設設計やプラントの点検・補修の作業性と安全性を向上するための工夫がみられ、また、過年度の納入実績において有効性が確認されたシステムの導入の提案があり、評価できる。
	2	ごみ量、ごみ質変動への対応（施設面）	ごみ量、ごみ質の変動に対して、代表企業の独自技術等により幅広い焼却性能を有するシステムを採用している点で、評価できる。
	3	施設の強靱化	最大規模の自然災害を想定した施設の強靱化対策を施している点で、評価できる。
(2) 環境負荷の低減・循環型社会への貢献	4	工事中の周辺への環境配慮	発生源対策の実施や自主管理値の設定により、安心・安全な建設工事の実現のための提案等があり、評価できる。
	5	環境保全対策（施設面）	代表企業の独自技術の採用や配置設計等により、環境基準値を遵守するための施設上の工夫・対策について提案等がなされているが、基準値の遵守に向けた更なる工夫と真摯な対応を期待したい。
	6	温室効果ガス（CO <sub>2</sub> ）の低減	省エネ機器や高効率発電設備の採用等により、温室効果ガスの排出量の削減を図っている点で、評価できる。
	7	安定的な熱回収及びエネルギー有効利用（施設面）	高効率発電システムの導入やタービン設計上の工夫、事業用地内施設全体での購入電力量の最小化等の提案があり、評価できる。
	8	焼却灰等の発生抑制・資源化	プラントの施設設計や運転の工夫による焼却残渣の発生量を抑制するための提案等があり、評価できる。
(3) 配置・動線計画	9	施設の配置・動線計画	目的別ゾーニング等、事業用地内の全施設利用者に配慮した施設配置・動線の提案等がなされているが、新直搬ヤードにおける混雑・渋滞防止に向けた更なる工夫と効果的な待機車両対策の検討に期待したい。
(4) 周辺環境との調和	10	意匠・外構計画	事業実施区域全体や周辺地域との一体性や調和を図った建築・外構計画の提案等がなされているが、周辺住民に親しみをもって受け入れられるよう、更なる検討を期待したい。
(5) 施工計画	11	施工計画	各施工段階における車両動線の分離や電源切替時の停電時間の短縮等、既存施設の運営に影響を与えないための提案等があり、評価できる。
	12	工事中の安全対策	安全管理・安全教育の徹底や工事車両による交通渋滞・交通事故の防止に向けた対策等の提案等があるが、工事中の安全確保に向けて更なる工夫を期待したい。
	13	工程管理	中・長期の工程管理の徹底や工期短縮のための提案等があるが、共同企業体が一体となって確実な工期内竣工を期待したい。

審査項目	No.	小項目	講評
(6) 環境学習・啓発施設	14	環境学習・啓発施設	見学、体験を通しての環境学習空間についての提案に加え、既存施設の更新や陳腐化対策も考慮されている点が評価できるが、近年の環境に関する社会的動向や地域課題、また、組合の意向等を踏まえた設備となるよう、継続的な検討を期待したい。
	15	見学者動線計画	構内道路の安全確保や効果的な見学者ルート等の提案があり、評価できる。
<b>2 運営計画に関する事項</b>			
(1) 受付・受入管理計画	16	効率的かつ円滑な受付・受入	あらゆる施設利用者を想定した受入管理体制の整備に向けた提案等がなされているが、とくに新直搬ヤードにおいて、施設利用者の視点に立った円滑な受付・受入が可能となるよう、更なる工夫を期待したい。
(2) 運転管理計画	17	安全な運転計画	具体的な労働災害低減対策の提案等があり、評価できるが、安全対策の更なる徹底を期待したい
	18	ごみ量、ごみ質変動への対応（運営面）	ごみ量、ごみ質の変動を考慮した運転計画やごみ質均質化管理等の提案があり、評価できる。
(3) 維持管理計画	19	長期使用可能な施設運営	代表企業の長期施設運営実績に基づく維持管理計画の立案や精度向上のための提案等がなされており、評価できる。
(4) 環境管理計画	20	環境保全対策（運営面）	各種基準値管理の設定や環境モニタリングの強化等の提案があり、評価できる。
(5) 余熱利用及び売電計画	21	安定的な熱回収及びエネルギー有効利用（運営面）	第1期焼却施設との連携や代表企業のサポート体制・運転体制等の提案があり、評価できる。
(6) 防災管理計画	22	自然災害等への対応	過去の災害経験を踏まえた事業継続計画や防災体制、災害廃棄物の処理についての提案等があり、評価できる。
(7) 住民・見学者等対応	23	住民・見学者対応	住民対応の実施方法、また、周辺住民への情報公開方法や施設案内方法について具体的な提案等があり、評価できるが、周辺住民の理解が得られ、また、見学者の行動変容に資する効果的な啓発実施のため、より効果的な取組を期待したい。
<b>3 事業の全体計画に関する事項</b>			
(1) 実施方針・体制	24	入札参加者の実施体制と役割分担	設計・施工から運営までの事業実施体制についての提案がなされているほか、代表企業を中心とした人員体制や人員の教育計画についての提案等があり、評価できる。
	25	組合との情報共有・管理	情報共有システムの活用や様々な情報共有施策のほか、組合のモニタリング業務の効率化や負担軽減に向けた提案がなされており、評価できる。
(2) 事業の安定性	26	長期収支計画の安定性	SPCの事業安定化を図るため提案等がなされており、評価できる。

審査項目	No.	小項目	講評
(3) 地元企業の 活用・地元 雇用・地域 貢献	27	リスク管理と対応策	本事業で想定されるリスクの抽出と各種リスクの顕在化・最小化のための方策等やリスク管理体制について提案がなされており、評価できる。
	28	事業期間終了時の対応	引継ぎ方法や事業期間後のサポート体制等、施設運営に係る組合支援策の提案がなされており、評価できる。
	29	地元還元・貢献 (設計・施工時)	施工時の地元企業及び人材の活用に向けて、地元企業への発注や技術支援等が提案されており、評価できるが、更なる貢献・協働を期待したい。
	30	地元還元・貢献 (運営時)	運営時の地元企業及び人材の活用に向けて、地元企業への発注や技術支援等が提案されており、評価できるが、更なる貢献・協働を期待したい。

## (2) 価格審査

入札参加者の立会いの下、令和4年12月13日に開札を行い、入札価格が予定価格の範囲内であることを確認した。

選定委員会では、開札結果の報告を受け、下記の算定式②により、表9のとおり、入札価格の点数化を行った。

【算定式②】 価格点の算定式
価格点 = 80点 × (最低入札価格 / 提案価格)

表9 価格点結果

項目	Kグループ	予定価格 (上限額)
施設整備費	20,860,000,000円	20,865,270,000円
運営費	15,990,000,000円	16,000,000,000円
合計	36,850,000,000円	36,865,270,000円
価格点	80点	

※ 消費税及び地方消費税を含まない。

### (3) 総合評価

(1)の非価格要素審査点と、(2)の価格点により算出した得点から、下記の算定式③により、表 10 のとおり、総合評価点を算出した。

【算定式③】 総合評価点の算定式	
総合評価点 (満点 200 点)	= 非価格要素点 (満点 120 点) + 価格点 (満点 80 点)

表 10 総合評価点結果

項目	Kグループ
非価格要素点	78.56点
価格点	80.00点
総合評価点	158.56点

### 6.3 最優秀提案者の選定

選定委員会は、6.2 (3) 総合評価の結果に基づき、荏原環境プラント株式会社営業第一部を代表企業とするKグループを最優秀提案者として選定した。

## 7 総評

本入札への応募は結果的に1グループであったが、その提案内容は代表企業の豊富な経験とノウハウが盛り込まれており、評価できるものであった。今回、提案書作成における多大なる努力に対し敬意を表したい。

選定委員会は、厳正なる審査の結果、荏原環境プラント株式会社営業第一部を代表企業とするKグループを本入札における最優秀提案者として選定した。

Kグループの提案は、安定処理、ごみ量・ごみ質変動への対応（施設面）、安定的な熱回収及びエネルギー有効利用（施設面、運営面）、事業期間終了時の対応について、具体的かつ実現性がある優れた内容であることを評価した。

一方、Kグループは、組合の構成市町である小山市、下野市及び野木町の公共サービスの更なる向上を図るため、設計・建設及び運営期間を通じて、要求水準書及び提案事項に基づき誠意をもって確実に履行することを前提に、次の点などに留意して本事業を進められたい。

- ・ 安全かつ安定的な施設整備・運営を実現し、組合圏域の公衆衛生の向上及び生活環境の保全に努めること。
- ・ 工程管理を徹底し、施設の工期内竣工を確実に行うこと。
- ・ 施設利用者の動線を考慮し、工事中の安全確保に十分留意すること。
- ・ 排ガス、騒音、振動、悪臭、日影、排水、焼却残渣、作業環境等に関する公害防止基準（保証値）を遵守すること。
- ・ 施設の配置・動線計画については、本施設の直接搬入車両が多い特性を踏まえ、混雑・渋滞防止に向けた方策を講じること。また、万一、待機車両が発生した場合の運用対策についても予め検討し、措置すること。
- ・ 本施設の意匠、外観デザインについては、複数案を組合に提示し、周辺住民に親しみをもって受け入れられるものとする。
- ・ 環境学習・啓発施設においては、カーボンニュートラル等の環境を取り巻く昨今の動向や地域課題について分析を行い、組合の意向を踏まえ、見学者の行動変容につながる効果的な設備とすること。また、運營業務期間を通じてその目的、その機能が十分発揮できるよう、陳腐化に十分に配慮し、積極的な見直しに努めること。
- ・ 地域還元・地域貢献については、提案内容を確実に実施するとともに、全ての構成市町において、地元発注額、発注量、地元雇用人数の増額・増員等更なる充実を図ること。

最後に、組合と荏原環境プラント株式会社営業第一部を代表とするKグループの双方が誠実な協議を重ねながら、今後長期にわたり良好なパートナーシップを構築し、事業目的の達成に向けて協働して取り組むとともに、本事業をより良いものにするために一層努力されることを期待する。

令和4年12月13日

第2期エネルギー回収推進施設整備・運營業者選定委員会  
委員長 荒井 喜久雄